

# 2011年度 大学院『研究論集』 論文募集要項

本年度の次の論文の応募は、下記の要領に従ってください。

法学研究論集	第35号及び第36号	文学研究論集	第35号及び第36号
商学研究論集	第35号及び第36号	情報コミュニケーション研究論集	第3号及び第4号
政治学研究論集	第34号及び第35号	理工学研究論集	第8号及び第9号
経済学研究論集	第35号及び第36号	農学研究論集	第13号及び第14号
経営学研究論集	第35号及び第36号	教養デザイン研究論集	第2号及び第3号

なお、2回の応募も可とします。応募にあたっては、テーマ、内容等に関し、あらかじめ指導教員と密接に連絡を取ってください。

## 1. 論文内容

- (1) 論文は、専攻分野に関して高度の専門性を備えた学術論文のほか、学術調査、共同研究を含め、学術上対外的に発表に値するものと認められるものでなければならない。
- (2) 論文は、専攻分野における研究に寄与するもので、明白な誤りがなく、さらに原則として他の公開の出版物に発表されていないものとする。
- (3) 論文の満たすべき具体的条件については、各研究科別に基準を設ける。  
ただし、全般にわたる論文の実証性・合理性については、以下の諸点に留意すること。
  - ① 研究素材の理解が正しく、解釈に無理はないか。
  - ② 事実認定に実情を無視したところはないか。
  - ③ 概念の使用が一貫しているか。
  - ④ 論理の進め方に不合理な点はないか。
- (4) 法学研究科については、(1)のほか次の原稿も認めます。
  - ① 研究ノート
  - ② 判例研究
  - ③ 資料紹介
  - ④ 外国語文献の紹介

## 2. 応募資格

- (1) 本大学院在籍者（聴講生・研究生・科目等履修生を除く）
- (2) 本大学院博士前期課程修了後2年以内の者で、本大学院博士後期課程の受験を希望する者であって、在籍時の指導教員の承認を受けた者（指導教員が退職等の場合は、所属研究科専攻主任の承認を受けること。このことは、つぎの(3)にも準用する。）
- (3) 本大学院博士後期課程入学後8年以内の者で、在籍時の指導教員の承認を受けた者。
- (4) (2)及び(3)に該当する者であっても、既に他の大学または研究機関に属し、そこで研究発表をすることのできる者を除く。

## 3. 作成・提出方法

- (1) 用紙：A4横書き（ただし、法・文学研究科は縦書きも可）
- (2) 字数：28,000字以内（図表含む）
- (3) 書式：横書き（44字×34行、19枚以内）  
縦書き（2段組 32字×23行、20枚以内）

#### 4. 論文執筆上の注意

##### 論文本文について

- (1) 原稿枚数の制限超過は認めません。
- (2) 全文外国語（英語・独語・仏語）で作成する場合も、原稿の制限枚数は原則として日本語論文と同じとすること。
- (3) 論文内容の目次をつける場合は、制限字数に含めます。
- (4) 校正の際、原則として文章の加筆・訂正は、認めません。
- (5) 本人の校正は、初校までとします。
- (6) 注記も制限字数に含めます。
- (7) 論文題名は、邦文題名には英文訳、外国語題名には邦文訳および英文訳を記入すること。
- (8) 図表・グラフ・地図等のトレースが必要な場合や写真などを原稿に貼付した場合のみ、添付書にその点数を記入すること。図表等をデータとして本文に組み込んでいる場合は、記入する必要はありません。
- (9) 注の書き方については、既刊の各研究論集を参考にすること。とくに、邦文文献名には『 』を付し、欧文文献名については、イタリック体とすること。

##### 掲載用論文要旨について

論文題名・執筆者氏名に続き、審査用論文要旨とは別に500字以内の「掲載用論文要旨」と「キーワード（5つ）」を記載すること（制限字数には含めない）。

###### ※経営学研究科

本文が和文の場合、英文の論文要旨を100～200ワードで記載し、本文が英文の場合、和文の論文要旨を300～500字程度で記載すること。

###### ※政治経済学研究科

欧文要旨の場合は500ワード以内で作成すること。

##### 審査用論文要旨について

審査用論文要旨（邦文の場合は1,000字以内、欧文の場合は250ワード以内）を3部添付すること。

※邦文で作成した審査用論文要旨は、掲載しません。

#### 5. 添付書類等について

論文は次の書類等を添付し、提出すること。

- ① 「論文題名」用紙は、それぞれの論文（3部）の上に綴じこむこと。
- ② 審査用「論文要旨」と「判定書」用紙は、それぞれの論文（3部）に挟み込むこと。
- ③ 「研究論集添付書」用紙は、論文と一緒に提出すること。
- ④ その他各研究科で必要とされる書類。

#### 6. 『研究論集』に掲載された論文の電子化による公開について

本研究論集に掲載された論文は、電子化し、ホームページ上で公開する場合があります。この場合、本学において行なう以外にも、本学が委託した機関において電子化、公開することもあります。応募に際し、このことをご了承ください。

なお、電子化による公開の可否について、「『大学院研究論集』添付書」の所定欄に必ず記入してください。

#### 7. その他

論文掲載者には、論集3冊および抜刷30部（共同執筆の場合は、合わせて30部）を贈呈します。なお、抜刷の増刷を希望する者は、初校終了時まで、大学院事務室に申し出てください。（増刷分については、別途実費を徴収します。）

研究論集発刊までの日程等については、次ページを参照してください。

研究論集第 35 号(政治 34 号, 情コミ 3 号, 理工 8 号, 農 13 号, 教養 2 号)及び  
第 36 号(政治 35 号, 情コミ 4 号, 理工 9 号, 農 14 号, 教養 3 号)  
の発刊までの日程について

	第 35 号 (政治 34 号, 情コミ 3 号, 理工 8 号, 農 13 号, 教養 2 号)	第 36 号 (政治 35 号, 情コミ 4 号, 理工 9 号, 農 14 号, 教養 3 号)
予備登録期間	4月2日(土)～8日(金) 〔ただし, 3日(日)を除く〕	7月1日(金)～8日(金) 〔ただし, 7月2日(土)及び 3日(日)を除く〕
論文提出締切	5月6日(金) 午後3時	10月3日(月) 午後3時
校 正	初校:7月中旬頃 事務室 ⇒本人	初校:12月中旬頃 事務室 ⇒本人
掲載者の決定	掲載の可否については, 各研究科委員会の議を経て, 研究論集編集委員会で 決定します。掲載を許可された者については, それぞれ6月中旬及び11月中旬 に大学院掲示板に発表します。	
発 刊	2011年9月9日の予定	2012年2月下旬の予定

- 注意 ① 予備登録は, 指導教員の了承を得たうえで, 大学院事務室窓口で氏名・論文題名等  
を登録すること。
- ② 予備登録した者には, 論文募集要項の他, 次の書類を配付します。
- (1) 「添付書」 1部
  - (2) 「論文題名表紙」 3部
  - (3) 「論文審査判定書」 3部
  - (4) その他各研究科で必要とされる書類
- ③ 論文提出について, 論文(掲載用論文要旨・キーワードを含む)・審査用要旨を各  
3部, 上記の所定の用紙を添付のうえ提出すること。
- ④ 期間・締切は厳守すること。
- ⑤ 日程等は事情により変更される場合があるので, 掲示に注意すること。
- ⑥ 論文題名の変更は原則として指導教員に許可された者のみとします。なお, 変更す  
る場合は必ず大学院事務室窓口に出してください。
- ⑦ 予備登録後, 提出を取りやめる場合は, 大学院事務室の窓口に出ること。
- ⑧ 2011年度より「審査前の論文提出時」の審査論文データファイルの提出は不要といたし  
ます。「業者に製本を依頼するとき」のみの1回といたします。  
論文の電子データファイル(図表がある場合は, それを含む)はFD, CD-R等  
(USBは認めない。)にて提出すること。その際には, 必ず氏名・研究科・専攻・  
ソフト名を明記すること。

以上